

情報通信審議会 情報通信技術分科会 局所吸収指針委員会
比吸収率測定方法作業班(第3回) 議事要旨(案)

1 日時

平成22年5月20日(木) 15時00分～16時30分

2 場所

総務省第1、2、3会議室(地下2階)

3 出席者(敬称略)

(1) 構成員

渡邊 聡一(主任)、吉長 寿、安達 勝、矢野 陽一(代理)、溝部 達克、
松浦 長洋、百成 卓三、濱田 リラ、戸田 善文、富樫 浩行、鈴木 能成、
篠塚 隆(代理)、石田 和人、伊藤 亮、大西 輝夫、大山 真澄、岡部 薫、
金山 佳貴、君山 潤子、小松崎 剛

(2) オブザーバー

多氣 昌生(局所吸収指針作業班 主任)

(3) 事務局

齊藤課長補佐、稲垣係長、北原官

4. 議事

- (1) 前回の議事要旨(資料－測定3－1)について、修正意見があれば、後日事務局あて連絡することとして了承された。
- (2) 大西構成員より、資料－測定3－2に基づき説明があった。
- (3) 渡邊主任より、資料－測定3－3に基づき、説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

富樫構成員：高速 SAR 評価に関して、IEC62209-2 ではインフォーマティブになっているが、インフォーマティブに関しては参考事項であることから、採用する、しないが起こりうるということか。

大西構成員：そのとおり。

戸田構成員：高速 SAR が採用されれば、その不確かさの評価についても適用されるのか。

渡邊 主任：この試験手順は最大 SAR の試験手順を求めるときに、高速 SAR の不確かさを考慮する。最終的な値は従来の方法で測らなければならない。

(4) その他

次回作業班の開催日程は別途調整の上、事務局より連絡することとなった。

【配付資料】

- 資料一測定 3－1 情報通信審議会情報通信技術分科会局所吸収指針委員会
比吸収率測定方法作業班（第2回）議事要旨（案）
- 資料一測定 3－2 大西構成員提出資料
- 資料一測定 3－3 渡邊作業班主任提出資料